

松阪の景気動向

令和4年7月調査結果

当所では、松阪地域の景気動向を的確に把握し、今後の商工会議所事業活動の参考とすることを目的に、毎年2回（1月と7月）景況調査を実施している。今回、7月実施の調査結果がまとまった。

調査対象

当所会員事業所から任意抽出した898企業を対象に調査を実施し、回答は413企業、回答率46・0%であった。

業種別回答状況

・製造業	22・0%
・建設業	17・2%
・卸売業	7・5%
・小売業	21・1%
・飲食業	4・8%
・サービス業	19・4%

従業員数別回答状況

・交通運輸業 8・0%

・0～5人	56・2%
・6～20人	24・7%
・21～50人	10・2%
・51～100人	4・6%
・101人以上	4・3%

① 現況と今後の見通し

(A) 現況

全体では「良い」「やや良い」が14・1%（前回15・2%）、「やや悪い」「悪い」が53・3%（前

現況について

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	DI値
製造	R4年7月	2.2	8.8	25.3	42.9	20.9	△52.8
	R4年1月	4.3	22.8	28.3	26.1	18.5	△17.5
建設	R4年7月	2.8	12.7	36.6	31.0	16.9	△32.4
	R4年1月	2.6	7.9	43.4	31.6	14.5	△35.6
卸売	R4年7月	6.5	16.1	35.5	25.8	16.1	△19.3
	R4年1月	9.7	16.1	29.0	25.8	19.4	△19.4
小売	R4年7月	0.0	9.2	29.9	33.3	27.6	△51.7
	R4年1月	0.0	8.5	25.6	41.5	24.4	△57.4
飲食	R4年7月	0.0	50.0	10.0	30.0	5.0	15.0
	R4年1月	0.0	10.0	25.0	35.0	30.0	△55.0
サービス	R4年7月	0.0	11.3	41.3	32.5	15.0	△36.2
	R4年1月	1.2	9.4	41.2	38.8	9.4	△37.6
交通運輸	R4年7月	0.0	9.1	39.4	30.3	21.2	△42.4
	R4年1月	7.1	7.1	35.7	28.6	21.4	△35.8
総合計	R4年7月	1.5	12.6	32.4	33.9	19.4	△39.2
	R4年1月	2.9	12.3	33.6	33.3	17.9	△36.0

※DI値（現況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

回51・2%）となり、DI値は△39・2で、前回（△36・0）より3・2ポイント悪化した。業種別のDI値は、建設業、小売業、飲食業、サービス業は改善した。一方で、製造業、交通運輸業は悪化した。卸売業はほぼ横ばいとなった。

(B) 今後の見通し

全体では「良い」「やや良い」が13・0%（前回11・1%）、「やや悪い」「悪い」が44・6%（前回41・6%）となり、DI値は△31・6で、前回（△30・5）より1・1ポイント悪化した。業種別のDI値は、建設業、卸売業、小売業、飲食業は改善の